

# 神戸川の清掃を行いました

## 出雲市佐田町上橋波～一窪田間

平成18年7月豪雨で甚大な被害を受けた出雲市佐田町内の神戸川では、平成20年3月末ですべての災害復旧工事が完了しました。

そこで、5月26日（月）に出雲市佐田町上橋波から一窪田間の神戸川約12kmにおいて、出水期前の河川パトロールの一環として、出水時や河川災害復旧工事等で流出した土のう袋などのゴミ収集を行いました。

参加者は、神戸川漁業協同組合、国土交通省斐伊川・神戸川総合開発事務所、出雲市佐田支所、出雲市佐田町内建設業者、出雲県土整備事務所災害工務部の約60名で、午前9時から11時30分まで作業を行いました。



前週末に降雨があったこともあり河川の増水が多少心配ではありましたが、大した増水にはならず、天気も回復し、気温も22℃程度と作業しやすい状況であったため、順調に作業が進みました。

川の上から見るのと違い、実際川の中に入りゴミ探しをすると意外と沢山のゴミがあるのに驚きました。また、土のう袋やブルーシート等は川の中で土砂に埋まっていたため、当初、手作業での撤去は困難が予想されましたが、みなさんの熱心な作業と気合いのおかげで取れる範囲のゴミはほぼ撤去することができました。

集まったゴミは、可燃物が土のう袋・ブルーシート等、2トントラック1台分、不燃物は鉄くず・塩ビパイプ等、軽トラック2台分となりました。

被災から約2年が経過し、少しずつ以前の川の姿に戻つつあります。今年も、あゆの放流が沿川の各地区で行われており、6月15日には解禁を迎えます。きっと多くの釣り客で賑わうことでしょう。また、気温が上昇するにつれて子供たちが川で水遊びをする機会も増えてくることと思います。これまでのように、自然豊かな神戸川、きれいな神戸川、誰もが楽しめる神戸川を守り続けていきたいと思っています。

